

平成31年度予算審査特別委員会



幕別町のシンボルマーク

第6期幕別町総合計画の五つの基本目標

- ✧ 協働と交流で住まいる
- ✧ 特色ある産業で住まいる
- ✧ 人がいきいき住まいる
- ✧ 豊かな学びと文化、スポーツで住まいる
- ✧ 自然との調和で快適な住まいる

これら基本となる考え方にに基づき、活発な質疑を行いました。その一部を要約して掲載します。

質疑の主な内容

総務費

Q 公区運営費交付金について

Q 役員選出に苦勞している公区への支援、「公区」と「町内会」それぞれについての考えは。

A 協働のまちづくり支援事業の人材育成支援を活用した研修会等への参加を促し、担い手確保の一助としたい。町広報紙等の配布などの負担の部分についても検討したい。町内会との違いについては、あらゆる機会を捉えて説明していく。

? 「行政区(公区)」と「町内会」

「行政区」は、町条例に基づき設置され、各行政区に公区長が置かれています。公区長は、町の非常勤特別職として、町政の周知、各種事業の連絡調整など、重要な職務を担います。町民の方は、必ずいずれかの行政区に属しています。『町内会』は、地域の方々のコミュニティ活動などを推進する自主的組織で、加入は任意です。町内会のことを公区と呼んでいる場合もありますが、それぞれ別の組織です。

民生費

Q 保育所の待機児童について

Q 保育所入所希望者は、全て入所できているのか。申込の状況と、待機児童の発生の有無は。

A 平成31年度の申込状況は、幕別中央保育所…申込61人、調整後入所者数61人。札内さかえ保育所…申込122人、調整後124人。札内北保育所…申込77人、調整後83人。札内青葉保育所…申込129人、調整後118人。札内南保育所…申込144人、調整後137人。現在9人の待機児童が発生する見込みで、今後、転出等で空きが出た場合は連絡し対応したい。

Q 学童保育所の入所状況、放課後児童支援員の確保は。

A 3月7日現在の入所者数は、はぐるま学童…48人、あすなろ…81人、つくし…172人、やまびこ…75人、ちゅうるい…17人。放課後児童支援員は、はぐるま…2人、あすなろ…4人、つくし…8人、やまびこ…4人、ちゅうるい…2人。つくしは、昨年からの支援員を増員した。

衛生費

Q 子宮頸がん予防ワクチンについて

Q 副反応への危惧から、接種実績がない状況。対象の子供や保護者への町の姿勢は。

A 厚生労働省から積極的な勧奨はしないよう勧告があった。町でも広報紙等でそのように周知している。定期接種であり、希望があれば接種できる体制は整えなければならない。今後も、有効性とリスクを含め、十分理解いただいた上での接種について周知する。

Q 産後ケア事業(訪問型)について

Q 助産師の訪問予定件数、施設型など制度拡充の考えは。

A 平成29年度、10人の方に延べ19回利用いただき、31年度予算では30人を見込んでいる。委託事業所の助産師の一人が訪問している。デイサービス型の長所など、他町村の状況も確認しており、今後の取組について、現在検討している。

《主な新規事業》

【地域性あふれる観光の発信】

アルコ 236 改修工事（配管設備の更新）

9,260 万円

【障がい者（児）福祉の充実と共生社会の実現】

障がい者就労支援コーディネーターの配置（障がい者就労までの支援、農福連携の促進）

333 万 6 千円

【歴史的文化の保存・伝承】

ナウマン象化石骨発見 50 周年記念事業（特別展の開催、発掘跡地の再発掘）

315 万 6 千円

【健康づくりとスポーツ活動の振興】

農業者トレーニングセンター改修工事（大規模改修、非常用発電機整備）

1 億 9,226 万 5 千円

【安心安全な水道事業の運営】

札内配水池改修事業（耐震化補強、発電機更新）

3,806 万円



Q ジビエ（野生鳥獣肉）を搬入する受入れ事業所と搬入費用は。

A 食肉処理加工施設への搬入は、2 時間以内に搬入可能な管内 6 箇所を予定している。運搬費用はハンターの負担だが、搬入した鹿 1 頭につき 2 千円をハンターへの補助金に乗せする予定であり、搬入費用等はその中に含まれると考えている。

農林業費
有害鳥獣対策について

A 街路清掃…186 人工、町道環境整備…20 人工、時間単価は、1600 円。公共施設清掃等（近隣センターワックスがけ等）は、時間数で 450 時間、時間単価は 1200 円で計上している。失業保険を受給していなくても対象になる。

労働費
季節労働者対策について

Q 計画している雇用人数、雇用日数と時給額、対象要件は。

商工費

空き店舗対策事業について

Q 商店街活性化には、なかなか結び付かないのが課題である。町の指定地域での開店など、補助要件がある。新年度に支援を予定する店舗数と指定地域拡大など見直しの考えは。

A 平成 30 年度は、新たに 2 件の利用があった。新年度は、30 年度の利用に係る家賃補助の継続に加え、新規事業者の出店 1 件分を見込んで計上した。既に商店街形成のある地域のにぎわい創出を図る事業としてスタートした。空き店舗の状況など、問合わせが 2 件ほどあるが、現在の正確な空き店舗の状況を把握する必要もあり、調査を進めている。その状況を整理し、指定地域内で活用できる空き店舗の情報提供を進めていきたい。

「空き店舗対策事業」とは？

幕別・札内・忠類の各中心市街地の指定した区域内で、空き店舗を賃借し出店する方への支援で、建物改修費用と建物賃料、それぞれ 2 分の 1 の補助（上限等あり）があります。

土木費

ナウマン公園のトイレについて

Q 仮設トイレとなった理由、常設トイレの必要性は。

A 平成 29 年度から公園の利用状況、入込調査などを行った。遊具エリアは、夏の土日祝日、晴天で高温という条件での利用者が増えている。聞き取り調査でも、遊具の近くへの設置要望があった。新年度は、6、8 月の期間で仮設トイレを 3 基設置する。引き続き、利用状況の調査等を行っていく。

教育費

ナウマン象化石骨発見 50 周年記念事業について

Q 記念事業の内容は。

A (1) 特別展の開催（北海道博物館所蔵の忠類産ナウマン象の本体化石の里帰り）、(2) ナウマン象発掘跡地の再発掘（新たな発見）、(3) 記念講演（学術的講演・象に関する講演）、(4) 他団体等との連携（観光物産協会や忠類出身芸術家等との連携）、(5) 記録映像の撮影などを計画している。